無料
TAKE FREE

HOPE ほーぷ

太田記念病院だより
vol.53
2019.1

口腔ケアで体を守ろう

ごあいさつ

かかりつけ医・登録医ご紹介
うがじんクリニック

診療科紹介 乳腺外科

腸を整えて元気なカラダに！

冬の感染症対策

太田記念病院だより
HOPE vol.53
2019.1

●理念
思いやりの心で行う医療

●基本方針
1.患者様の人格と権利を尊重し、何よりも安全を重視した医療を提供します。

2.常に医療の質の向上を目指し、救急医療の充実に努めて地域の医療に貢献します。

3.病病・病診連携を推進し、患者様がより良い医療を受けられるように努力いたします。

4.健康保険組合の一員として、地域住民の保健や福祉にも貢献し、信頼関係を深めるように努めます。

●患者様の権利

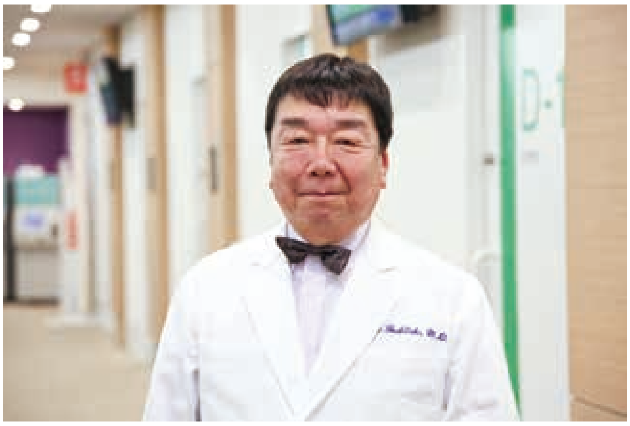
1.安全な質の高い医療を平等に受ける権利
患者様はいかなる宗教・国籍・社会的地位などにかかわらず、安全で良質な医療をどなたでも平等に受けることができます。

2.個人の尊厳とプライバシーが保たれる権利
患者様は人間として尊厳を保たれ、個人の情報が堅く守られながら医療を受けることができます。

3.個人の医療情報・開示が得られる権利
患者様は病気・治療・検査等の内容についてわかりやすい言葉で納得のいく説明を受け、診療の記録についての情報開示を受けることができます。

4.医療行為の選択を自ら決定する権利
患者様は十分な説明を受けたうえで、ご自分の意思により治療・検査・その他の医療行為を選択・拒否することができます。

5.医療行為について苦情や意見を述べる権利
患者様は病院に対しての苦情や意見を自由に述べることができます。また、それにより患者様が不利益を受けることは一切ありません。



三次救急病院としての急性期医療体制の強化と地域医療連携体制の整備のために

太田記念病院　病院長　佐藤吉壮（さとう よしたけ）

●入院患者を1病棟に集約する検討と実施を開始

明けましておめでとうございます。

2018年は、施設内においては大きな工事を必要としませんでした。2017年1月に敷地の道路を渡った北側に約230台の駐車場を整備し職員駐車場として使用、病院正面玄関前から看護学院前のスペースを病院利用者用として皆様が少しでも病院に近い場所に駐車できるようにいたしました。2018年12月より、敷地の道路を渡った北側にさらに駐車場を約350台分拡張する工事を行なっております。

診療科につきましては、2018年は4月より呼吸器外科1名が常勤となりましたので、今までご迷惑をお掛けしていた疾患につきましても、対応が可能となりました。

また、従来より病病・病診連携で外来患者様のお願いをして参りましたが、近年は専門性の高い医療を必要とする患者様が増加し、午後の検査・手術、入院患者様の対応などに支障が生じている状況です。そのため、2018年10月1日より、初診の受付時間を短縮させて頂くことになりました。ご迷惑をお掛けする事もあろうかと思いますが、ご理解を頂ければと思います。

2017年度実績は、平均入院患者数362.2名、平均入院日数11.2日、平均病床利用率92.3%、手術件数5,315件、分娩数700件でした。救急車受け入れは5,412台、ドクターヘリ受け入れは72台で、延べ紹介数22,072件、延べ逆紹介数17,574件でした。

2018年12月現在の職員の体制は、常勤医数115名、看護師数は556名を含め、総勢959名の体制となっております。

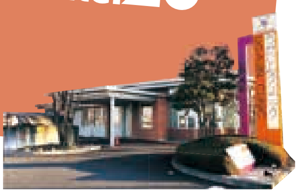
一昨年度より掲げてまいりました中長期計画の一環に、三次救急病院としての急性期医療体制の強化と地域医療連携体制の整備を挙げております。そのために当院各センター(救命救急センター、内視鏡センター、周産期センター、医療連携センター)の充実・強化を図っていくつもりでおります。

また夜間の入院対応として、ERからICU，HCU以外の病棟への入院患者を1病棟に集約することで、スムーズな移動と専門的な医療・看護を提供することができるよう検討し実施を始めております。

理念である「思いやりの心で行う医療」を念頭に置き、チーム医療を推進して職員全員のベクトルを同じ方向として頑張る所存でおります。

よろしくお願い申し上げます。

PICKUP CLINIC file.26



かかりつけ医・登録医ご紹介

うがじんクリニック

院長 宇賀神(うがじん) 一名(かずな)

来て良かったなと思っていただけるようなクリニックを目指しています。

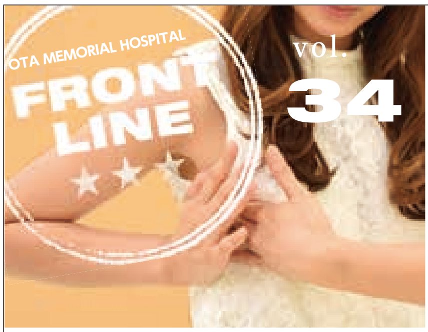
診療科：内科、小児科
　　　消化器科
住　所：太田市飯塚町685-10
電　話：0276-40-1414
診療時間：
（午前）9:00〜12:30
（午後）15:30〜18:00
休診：日祝祭日・木土午後

●開院のきっかけ：幼い頃、病弱でよく開業医の先生に診てもらっていたことがきっかけで、最終的に目指す医師像が、総合診療ができる開業医でした。また宇都宮出身ですが、大学病院勤務時代に東毛地域に派遣されることが多かったことや太田の人々の寛容さもあり、縁あって開業しました。

●特徴：元々消化器外科を専門としていましたが、疾患は1つとは限らない為なるべく多角的に診察できるように努め、糖尿病を中心とする生活習慣病から経鼻内視鏡による上部(食道・胃・十二指腸)消化器内視鏡検査、小児の予防医学等に力を入れております。年2回は専門以外の学会にも足を運び、最新の医療情報の習得に努めています。また、インターネットを利用した診察受付も行っており、現在の待ち時間がわかりやすくなる対応をとっています。

●心がけていること：患者さんがどのような疾病でもまず相談にのり、窓口を広げてあらゆる症状に対して診察できるように心がけています。診察まで待ち時間があったとしても、診療に対して納得いただけるように分かりやすく丁寧な説明を心掛けています。その他スタッフ全員での接遇、医療技術向上に向けた勉強会を定期的に行い、少しでも来院された方の満足につながるよう努めています。すべてのスタッフが同じ姿勢で外来診療に臨んでいます。

●今後の目標：現状に満足せず、日々努力を重ねていきたいです。また多くの方に受けていただけるように胃がん検診の充実を図りたいと考えています。



診療科紹介

乳腺外科

部長　吉田(よしだ)　崇(たかし)
医長　後藤(ごとう)與四成(よしなり)

写真向かって左より後藤医師、吉田医師

乳房に関して心配のある方は、お気軽にご相談ください。

当科では、自覚症状のある方の診療、検診後の精密検査、良性疾患の経過観察、乳がんの治療などを、常勤2名で行っています。

初診の方には、まず乳房のレントゲン検査（マンモグラフィ）や超音波検査を行い、病変が疑われる時は、細胞や組織を取る検査を行います。

乳がんと診断された場合、手術、放射線治療、薬物療法を病状、健康状態などに応じて行います。

手術では、乳房を切除した患者さんに対して、あらたに乳房を作る再建手術を形成外科と連携して行っています。乳房を再建することによって、乳房を失ったという精神的苦痛を減らすことができ、日常生活の質が改善します。病状によりますが、乳がんの手術と同時に受けることもできます。

薬物療法は、近年著しく進歩しています。乳がんで使用する薬には、ホルモン剤、抗がん剤、そしてがん細胞に選択的に作用する分子標的治療薬があります。どの薬が効きやすいか、乳がんはいくつかのタイプに分かれます（サブタイプと言います）。サブタイプに応じた治療を薬剤師とも相談し、安心安全に行うようにしています。

放射線治療に関しては、当院に治療設備がないため、近隣の病院に依頼しています。

乳がんに罹る人は年間9万と増えており、40歳代と60歳代に多くみられます。また、最近は高齢者の患者さんも増えています。当院は総合病院であるため、糖尿病や循環器疾患、腎臓疾患などを合併している患者さんにも各科の協力を得て対応しています。

口腔ケアで体を守ろう

近年全身の病気と口の中(口腔)の健康状態の関係について、より注目が集まっています。どの年代でも、口腔の健康を保つことは体の健康に繋がります。

近年口腔ケアの重要性が再認識されています

むし歯や歯周病が多い状態、口の中に細菌が多い状態は、動脈硬化、心筋梗塞、糖尿病や早産、低体重児出産、誤燕性肺炎などと関係していることがわかってきました。今までは医学と歯学が別のものと捉えられていましたが、近年の研究により、口の中の細菌が全身に影響を及ぼしたり、全身性の病気が口の中に影響を及ぼしたり、相互に関係があることが分かり、様々な病気の治療法の研究が進められています。

また、食事でよく食べこぼすようになった、硬いものが噛めなくなった、むせることが増えた、口の中が渇く、と言った症状やありませんか?これらの口腔(オーラル)機能の軽微な低下を、身体の衰え(フレイル)の一つとらえて、オーラルフレイルと呼ばれるようになり、初期の老化のサインであると言われています。

なかなか自覚しにくいかもしれませんが、これらを放置しておくと噛む力、飲み込む力が弱くなり、滑舌も悪くなってきます。そうすると、栄養が偏ったり、人と食事するのが億劫になったりする可能性があります。

幼少期からの口腔ケア大事

ヒトは生後半年頃から歯が生えていき、ものを噛む力、飲み込む力が発達し、顔の表情が豊かになったり、脳の機能(記憶力・集中力など)を高め、生きる力を身につけていきます。また歯を磨くという行為がはじまり、口腔内を清潔に保つことで、健全な食生活を送ることができます。老いは避けられないものですが、このことを十分に理解し、どの年代でも口腔ケアを定期的に行い、病気を予防し豊かな人生を送りましょう。

オーラルフレイルの問診票

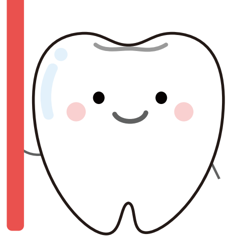
質問項目	はい	いいえ
半年前と比べて、かたいものが食べにくくなった	2	
お茶や汁物でむせることがある	2	
義歯を使用している	2	
口の乾きが気になる	1	
半年前と比べて、外出の頻度が少なくなった	1	
さきいか・たくあんくらいの硬さの食べ物が噛める		1
1日に2回以上は歯を磨く		1
1年に1回以上は歯科医院を受診している		1

合計の点数が	
0～2点	オーラルフレイルの危険性は低い
3点	オーラルフレイルの危険性あり
4点以上	オーラルフレイルの危険性が高い

※東京大学高齢社会研究機構　田中友規、飯島勝矢より引用

今日から実践できる！口腔ケア！

日本口腔ケア学会認定 歯科衛生士
石井英美（いしい えみ）



①.歯ブラシ歯磨き粉の選び方

患者様にお勧めする標準的な歯ブラシとして、

①柄が真っ直ぐ
②毛の硬さはふつう
③植毛部の面積の小さいもの
④口腔内で小回りが利くもの、

が挙げられます。

しかし歯並びや口の大きさ、歯肉の状態などによりそれぞれ適する歯ブラシは異なります。これで良いのかな、と迷ったらぜひかかりつけ歯科でご相談下さい。また効率的にプラークを落とすために、歯ブラシの毛先が開いていなくても1カ月に1本を目安に交換しましょう。

歯磨き粉は正しいブラッシングとセットで初めて、むし歯や歯周病の予防・抑制、口臭除去などの清掃効果を発揮します。現在、市販の歯磨き粉の90%以上に薬用成分が配合されています。自分の症状に合った歯磨き粉とブラッシングでしっかりホームケアをしましょう。

②.正しい歯の磨き方

毛先を歯と歯肉の境目や歯と歯の間にしっかりあてる、150～200gの軽い力(毛先が広がらない程度)で磨く、それぞれの歯の形態に合わせて、1歯ずつ歯ブラシを小刻みに動かす。ポイントはこの3つです。しかし口腔内の状況は千差万別です。歯ブラシ同様かかりつけ歯科でオーダーメイドのブラッシング方法を教わることをお勧めします。

歯科口腔外科

伊澤先生に聞きました！

歯科口腔外科 部長
伊澤和三（いざわ かずみ）

Q1 病気の治療前に虫歯や歯周病等の確認がある場合があります。どうしてですか？

A. 口腔レンサ球菌は口腔常在菌叢（じょうざいきんそう）において最も優勢な細菌群です。
口腔バイオフィルム※である歯垢を形成し、う蝕の原因や、歯周病原性細菌の定着の足がかりになります。歯周炎が進行すると歯科的治療に限らず、食事や歯磨きの度に口腔常在菌は繰り返し歯肉の血管内に侵入し、感染性心内膜炎や歯性病巣感染など口腔以外の領域で発症する感染症の原因菌となります。また、誤嚥性肺炎の原因菌としても注目されています。

がん、臓器移植、心臓外科手術や整形外科手術の施行前後に口腔環境を整えることで、肺炎や創感染などの合併症を少なくし在院日数の短縮につながるといわれています。また、抗がん剤の中には口腔粘膜炎を起こす頻度の高いものがあり、投与前後の口腔ケアの介入で、症状の軽減につながることがあります。

Q2 なぜオーラルフレイルという言葉が注目を集めるようになったのでしょうか。

A. フレイルとは、海外の老年医学の分野で使用されている「Frailty(フレイルティ):虚弱」の日本語訳です。フレイルは加齢に伴う様々な機能変化や予備能力低下によって健康障害に対する脆弱性が増加した状態で、日常生活機能障害・施設入所・入院をはじめとする健康障害を認めます。

日本での大規模研究から、フレイルに至る前段階のプレフレイルの状態に、わずかなむせや食べこぼし、滑舌の低下といった口腔機能が低下した状態があることが分かりました。その段階をオーラルフレイルといい、国民の啓発に用いる用語(キャッチフレーズ)として使われるようになりました。

Q3 オーラルフレイルは予防できるのでしょうか。

A. 現時点でオーラルフレイルの概念が確定していません。なぜなら近年知ることができた新しい知見であるからで、その明確なスクリーニングやアルゴリズムは確立されていません。オーラルフレイルの状態の疾患名は口腔機能低下症といいますが、その両者はほぼ同義と考えてよいでしょう。

口腔機能低下症の診断基準には口腔衛生状態、口腔乾燥、咬合力、口唇の運動力、舌の圧力、咀嚼機能、嚥下機能の項目があります。この7項目の機能低下を極力少なくすることが必要です。

Q4 口腔内の健康を保つためのポイントを教えてください。

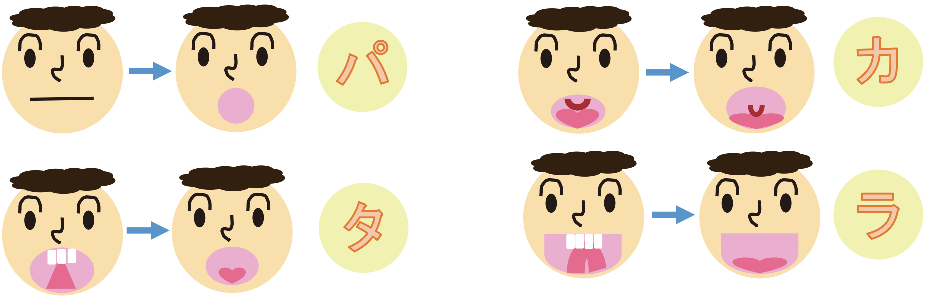
A. 歯の色が変色した、歯が欠けたなど、ちょっとした変化で他の人と顔をあわせることが出来なくなったり、引きこもりがちになることがあります。自身で口腔環境の変化に気づいた段階で、早めにかかりつけ医を受診し機能的・審美的回復を図ることで口腔機能低下を未然に防ぐことが出来ます。口腔への関心度の低下から精神・心理的な意欲低下、うつ傾向を経て、サルコペニアやロコモティブシンドロームさらに栄養障害へ段階が移行することがいわれています。小さな変化を見逃さず、放置しないようにすることが大切です。

用語の定義

※バイオフィルム
自然界にもあらゆる場所に存在します(風呂場のぬめりや川の中の石のヌルヌル)。厳しい環境下でも生息し生き残るために身に着けた微生物の能力で、様々な種類の微生物が付着・凝集しフィルム状に表面に形成されます。抗菌薬・消毒薬に抵抗性を有し、バイオフィルム内で長期に微生物が生息できるようになります。

簡単なお口の体操
パタカラ体操

パタカラ体操は食べ物を上手に喉の奥まで運ぶ一連の動作を鍛えるための発音による運動です。加齢に伴い筋肉が弱ってくるとお口の周りの筋肉や舌の動きが悪くなります。その予防、改善が目的です。パタカラ体操に取り組んでいつまでもおいしく食事を摂りましょう。



パ： 唇をしっかりと閉めて発音することで唇を閉める筋肉を鍛え、食べ物を口からこぼさないようにすることができます。

タ： 舌を上顎につけて発音することで舌の筋肉を鍛え、食べ物を押しつぶしたり、飲み込みがしやすくなります。

カ： 喉の奥に力を入れて喉を閉じることで発音します。食べ物を飲み込み、食道へ送るには一瞬呼吸を止めることが必要となります。「カ」の発音は誤嚥予防のトレーニングとなり、食べ物を食道へ送り込みやすくなります。

ラ： 舌を丸め、舌尖を上の前歯(裏)につけて発音することで舌を多く動かすトレーニングとなります。これにより食べ物を喉の奥へと運びやすくなり、飲み込みを助けます。

栄養部通信

食事を変えてカラダ改善

管理栄養士
徳永 美希（とくなが みき）

いつまでも元気でいきいき!

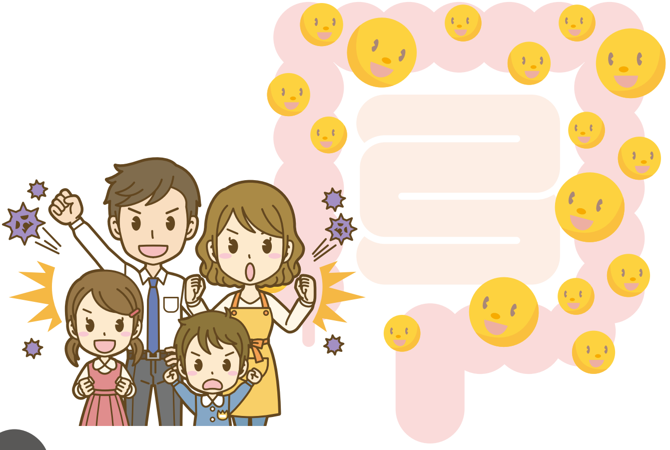
腸を整えて元気なカラダに!!

腸と免疫細胞の関係性

寒くなり、風邪やインフルエンザ・ノロウイルスなど感染症の流行する季節になりました。感染症を防ぐためには、うがい・手洗い・はもちろん免疫力を高めておくことも重要です。

腸には人の免疫細胞の半数以上が存在しているため、腸を健康に保つことで免疫細胞を元気にすることが出来ます。

腸に良い栄養を取り入れ、感染症に負けない元気なカラダを手に入れましょう!



良い腸にするための食生活3つのポイント

◎プロバイオティクスを取り入れる

腸で良い働きをしてくれる細菌や酵母のことです。発酵食品がこれにあたります。沢山食べると栄養の摂り過ぎや栄養過多になってしまうので、毎日少量ずつ食べるように心がけましょう。複数摂る必要はなく、どれか一つでも食事の中に入っていれば大丈夫です。

≪プロバイオティクス食品≫

ヨーグルト、甘酒、乳酸菌飲料、ぬか漬、味噌、納豆、キムチなど

◎プレバイオティクスを取り入れる

腸内細菌のエサになって、細菌の増殖を促してくれる食品です。食物繊維やオリゴ糖などがこれにあたります。特に腸内のお掃除役でもある食物繊維は積極的に取りたい食品の一つです。食物繊維は普段不足している人が多いので白米を玄米に変えたり、こんにゃくや海藻類の副菜を1品増やすなどして積極的に取りましょう。

≪プレバイオティクス食品≫

オリゴ糖…バナナ、はちみつ、大豆などの豆類、
ごぼう、ねぎ類など

食物繊維…海草、こんにゃく、玄米、大豆、野菜類

◎バランスの良い食事を心掛ける

毎日プロバイオティクスやプレバイオティクス食品を摂っていても、**脂っこい食事や甘いものばかり食べていたら悪玉菌が増え腸内環境は乱れがち**になってしまいます。主食（ご飯・パン・麺類）＋主菜（肉・魚・卵・大豆製品）＋副菜（野菜・きのこ・海藻類）は毎食食べるように意識し、果物・乳製品は1日1回適量とるように意識しましょう。冬は夏に比べ水分の摂取が少なくなり便秘がちになってしまいます。水分も忘れずにこまめに摂取しましょう。

看護部通信

一人ひとりの予防が大事
冬の感染症対策

感染管理認定看護師
土屋（つちや） 映里佳（えりか）

高齢者や乳幼児は重症化することも･･･

「冬の感染症」といえば主なもので、インフルエンザ、ノロウイルス、嘔吐下痢症などがあり、どれも“注意が必要な感染症”とされ、特に高齢者や乳幼児がかかると重症化することもあります。十分な予防対策をして、一人ひとりが「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。

インフルエンザ

インフルエンザは、毎年12月から3月に流行し、普段健康な人でもかかる疾患です。潜伏期間は、1～2日で慢性的な疾患を持つ方や、免疫力が低下している方は、インフルエンザにかかると、重症化するリスクが高くなります。

インフルエンザ	
症　　状	38度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、のどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳など。急激に発症
流行の時期	1～2月がピーク※4、5月まで散発的に続くことも
感 染 経 路	飛沫感染・接触感染
予　防　策	①インフルエンザワクチンの接種 ②十分な栄養と休息、手洗い ③マスクの着用

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は毎年冬期に流行する嘔吐下痢症の1つです。感染力が非常に強く、わずかなウイルス量でも発症します。インフルエンザ同様に小児、高齢者、免疫力が低下している方にとっては、重症化することがあります。また感染力が強いだけではなく、乾燥表面で28日程度生存することが出来ると言われているため、一般家庭でも徹底した清掃が必要になります。

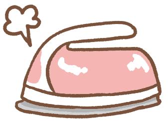
感染性胃腸炎	
症　　状	腹痛・下痢、吐き気・嘔吐、発熱してもあまり高熱にはならない
流行の時期	12月がピーク（※1月～3月頃また流行する）突発的に発症
感 染 経 路	接触感染（食品媒介含む）・飛沫感染
予　防　策	①手洗いと食物の衛生管理 ②適切な片付けと消毒

もしご家庭で嘔吐してしまったら…

ご家庭で嘔吐物の処理や、下痢をした後のトイレの掃除や床などは、次亜塩素酸ナトリウムを使用して下さい。ノロウイルスや小児特有のロタウイルスは、アルコールに強いため、除菌クロスなどでは菌を除去することが出来ません。ご家庭にあるハイター® は濃度が5％程度です。0.1％の濃度に薄めて使用します。必要量に作成した液を直接かけスポンジ等でこすり洗い、いらないタオルや布を使用し、拭き掃除をして下さい。その際換気を十分に行う事と、マスク、手袋をつけ、掃除後は必ず手洗いを行って下さい。ハイターによる色褪せが気になる箇所は、吐物を取り除き、目に見える汚れがなくなった後にアイロンを使用し消毒する方法もあります。

アイロンを使用する場合

アイロンをスチームにし、当て布をした上から1箇所あたり2分間ずつあてて下さい。
※やけどには十分注意して下さい。



太田記念病院ではこのような取り組みを行っています

当院は、毎週感染対策チーム（医師・看護師・薬剤師・検査技師）で院内ラウンドを行い、感染の早期発見に努めています。また抗菌薬が適正に使用されているか、感染予防策が実施できているか確認、指導しています。その他院内外からの感染に対する様々なコンサルテーションに対応しており、感染から太田記念病院に関わる方、地域の方を守ることを第一に行っています。

感染対策課からのご協力のお願い

インフルエンザ流行シーズンは、院内での感染拡大を防ぐために面会制限と、マスクの着用をお願いしています。ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

インフルエンザ流行中

面会制限のお願い

面会時間：午後２時～午後８時

原則、ご家族以外の面会を禁止させていただいております。

◎ ご面会の際には、必ずマスクを装着し、面会前は手指衛生にご協力お願いします。

マスク販売場所
①救急外来受付前
（自動販売機）
②２階院内コンビニエンスストア

◎ 面会の人数は、最小限とし、長時間の面会はご遠慮下さい

◎ 以下の対象の方は、面会をご遠慮下さい。

発熱、咳、喉の痛み等の風邪症状のある方

中学生以下のお子様

院内での感染・拡大防止の為に、入院患者様への一般のお見舞いにつきましては、当面の間、ご遠慮頂きますようお願い致します。
ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

平成３０年１２月２７日
太田記念病院 病院長

次号のお知らせ　次号の発行は5月を予定しています。

新任医師のご紹介

新しく着任いたしました。

病理診断科
いまい やすお
今井 康雄
H30年11月1日入職

泌尿器科
さくらばやし けい
櫻林　啓
H31年1月1日入職

総合防火訓練実施しました

●11月28日(水)

平成30年11月28日(水)に院内総合防火訓練を実施しました。7階のランドリーからの出火を想定し、消防機関への連絡、初期消火、避難動線の確認及び、入院患者様の安全確保、避難誘導の模擬訓練を行いました。また、消防署のご協力のもと初期消火の際に必要な消火器の使用方法を学びました。多くの方にご利用いただく施設のため、年2回防火訓練を行い有事の際に備えています。

クリスマスイベント開催しました

●12月25日(火)

平成30年12月25日(火)に、院内1階エントランスにて太田市の長竹音楽教室の皆様によるクリスマスコンサートを開催しました。当日はソプラノ二重唱やフルートとピアノの演奏等、クリスマスにふさわしい素敵な音楽に、参加した方々からもご好評をいただきました。

院内ボランティア募集のご案内

当院では患者様へのサービス向上のため、院内ボランティアを募集しております。業務内容は受付・精算機周辺での患者様のご案内などが中心となっております。

活動日時：病院休診日を除く平日・土曜日
(8:30～12:00までの間で2時間程度)
※活動日・活動日数等はご希望に応じて調整可能です
年　　齢：18歳～70歳くらいまでの方(高校生不可)
連 絡 先：太田記念病院 総務課

ふれあいフェア2018実施しました

●11月10日(土)

11月10日(土)に第7回ふれあいフェアを開催し、多くの方々にご参加頂きました。今回は過去最大人数の約1000名の方々にご参加頂きました。今年は市立太田高等学校の吹奏楽部の皆様によるオープニングイベントから始まり、医療に関する様々な体験コーナーや展示・相談、講演会等を実施致しました。また野外会場では消防車・救急車の展示、スバル車展示、各種模擬店の出店があり、大盛況でした。

ご参加頂きました皆様、誠にありがとうございました。

また来年度も実施致します。更なる内容の充実を図ってまいりますので、是非お越しください。

SUBARU健康保険組合 太田記念病院
TEL.0276-55-2200(代)
電話番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようお願い申し上げます。
〒373-8585 群馬県太田市大島町455番地1

太田記念　検索
ホームページアドレス
http://www.ota-hosp.or.jp

太田記念 FB　検索
フェイスブックアドレス
https://www.facebook.com/otahosp

太田市平日夜間急病診療所はこちら

TEL.0276-60-3099
太田市飯田町818 太田市保健センター1階
診療日：月・火・水・木・金・土
※日・祝日・年末年始は休診となります
受付時間：午後6時45分～午後9時45分

HOPE ほーぷ vol.53
●発行／SUBARU健康保険組合 太田記念病院 〒373-8585 群馬県太田市大島町455番地1 TEL.0276-55-2200(代) FAX.0276-55-2205
●企画／総務課
© OTA MEMORIAL HOSPITAL All rights reserved

無料

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。